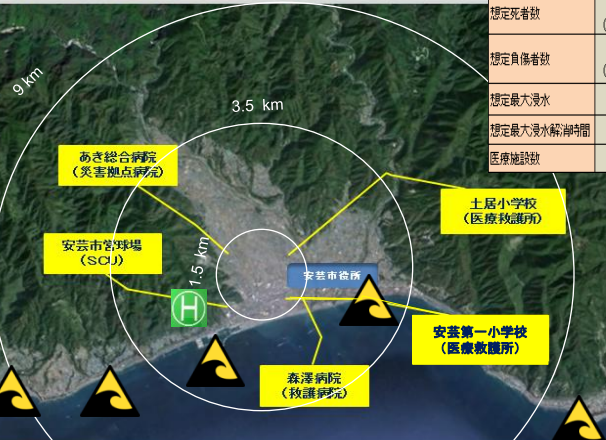


安芸市医療救護行動計画（目指す姿）

従前：地域の医療機関と連携した救護計画を作成
 現状 安芸市 医療救護計画（既存）

人口(H27.4)	18,458人
想定死者数	220人 (L2:1,800)
想定負傷者数	490人 (L2:18,00)
想定最大浸水	6.2m
想定最大浸水解消時間	720min以上
医療施設数	12施設



1 南海トラフ地震の発生で起こり得る安芸市内の状況

・大きな揺れ、家屋の倒壊、ライフライン停止、津波による浸水、火災、道路網、通信網の寸断による孤立化、多数の死傷者・行方不明者、医療資源不足……

災害医療対策安芸支部会議の検討結果及び住民参加型医療救護体制構築に向けた取り組み

負傷者の発生



・被災状況や交通網の寸断等により、必ずしも指定されている医療救護所等で主体的な医療活動が行えるかは未確定です。このため、従前からの医療救護施設に加え、「避難所」等を救護計画に加え、そこへ参集できた医療従事者や住民により、まず、初期治療（応急手当）や安定化措置の実施を目指します。また、各医療救護所、各避難所等と災害対策本部との画一的な情報連絡手段を構築し、必要な情報や資源の提供及び後方搬送が素早く行える体制を目指します。

救護病院、医療救護所 + 避難所等



2 住民参加型 安芸市 医療救護行動計画の概要

誰もが協力できる「新たな医療救護行動計画」の策定 安芸市



住民参加型 配備計画 ⇒ 避難所での救護活動 ⇒ 医療救護所等への搬送

